

# 国際貿易論 2020

- 第2回 (2020/05/21)
- By 江口潜
- (新潟産業大学経済学部准教授)



ミクロ経済学の理論は単純で、人々の消費行動というのは「買うことのできる範囲」で、その人にとって一番うれしいように、財やサービスを買っている（それぞれの財やサービスの買う量を決めている）はず、というもの。

そして、「その様子は、こんな風だよね。違う？」と言っているのがミクロ経済学の消費者の理論

けど、そんな私たちの消費者としての「様子や姿」を、どうやったら描き出せるというのか。

ミクロ経済学なる学問は、そんなものを、どう描き出しているというのか。

想像してみてください。。。

幼稚園児の「しんのすけ君」はチョコビと、チョコビ以外の、とにかくお菓子が大好き。かあちゃんのみさえがくれる毎日のお小遣いで「チョコビと、チョコビ以外のお菓子を買って」日々をととてもとても幸せに暮らしている。。。ようは、どこにでもいる、しかも幼稚園児だ！

しんちゃんの「好み」を描き出したい。しんちゃんは幼稚園児で、基本的にお菓子が大好きで特に「チョコビ」が大好きな普通の(?)どこにでもいる幼稚園児だ。

そんな、しんちゃんの「好み」という「本人しか分らないもの」を、どう描けというのか？

こういうときは、とりあえずしんちゃんが大好きな「チョコビ」を軸に、しんちゃんに、しんちゃんの好みを聞いていくことにしよう。(そうすることで実はしんのすけの好みというものを描き出すことが可能になる)。

キーとなる質問の仕方：

「ねえねえ、しんちゃんはさ、もしチョコビが〇〇と、チョコビ以外のお菓子(詰め合わせ)が△△個もらえたら、どれくらい嬉しいかな？」

「うーん、だったら、おら、これくらい嬉しいかな？」

「ふ〜ん、だったらしんちゃん、もしチョコビが〇〇〇と、チョコビ以外のお菓子(詰め合わせ)が△△△個もらえたとしたら、どれくらい嬉しいかな？」

「うーん、だったら、おら、これくらい嬉しいかな？」

「ねえねえ、しんちゃんはさ、もしチョコビが〇〇と、チョコビ以外のお菓子（詰め合わせ）が△△個もらえたら、どれくらい嬉しいかな？」

「うーん、だったら、おら、これくらい嬉しいかな？」

「ふ〜ん、だったらしんちゃん、もしチョコビが〇〇〇と、チョコビ以外のお菓子（詰め合わせ）が△△△個もらえたとしたら、どれくらい嬉しいかな？」

「うーん、だったら、おら、これくらい嬉しいかな？」

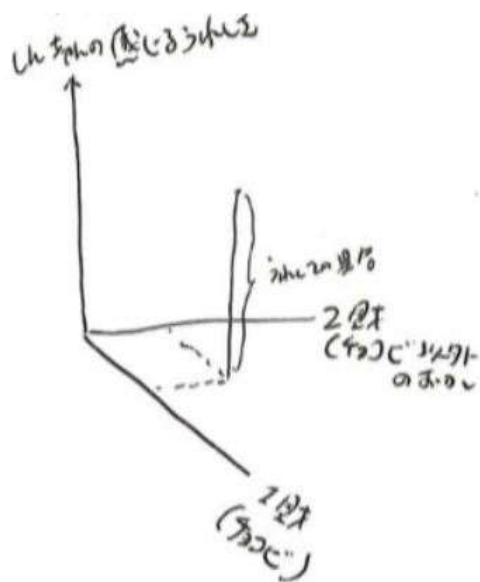
これって、どう考えても、しんちゃんという幼稚園児の「心の声（好みの姿）」を、聞き出しているよね。

でしょ？違う？

だったら、いましんちゃんから聞き出した、これらの「だったら、おら、これくらい嬉しいかな？」という情報を、図にプロットしていってみよう！

「しんちゃんは、もしチョコビが〇〇と、チョコビ以外のお菓子（詰め合わせ）が△△個もらえたら、これくらい嬉しいんだって。」という情報を、どんどん、左のような軸を用意して、プロットしていってみようよ。

そうしたら、そこに浮かび上がってくる「何か」はしんのすけの「好み」の、姿と言えるんじゃない？

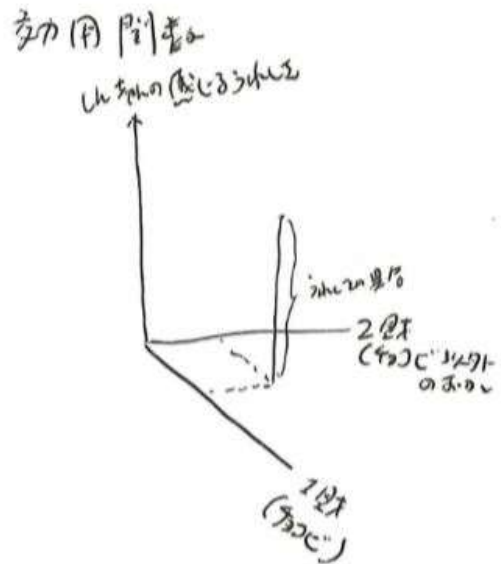


そうやって、どんどんプロットしていく（棒グラフの棒を立てていく）と、そこにしんちゃんの  
 好みが、浮かび上がってくる！

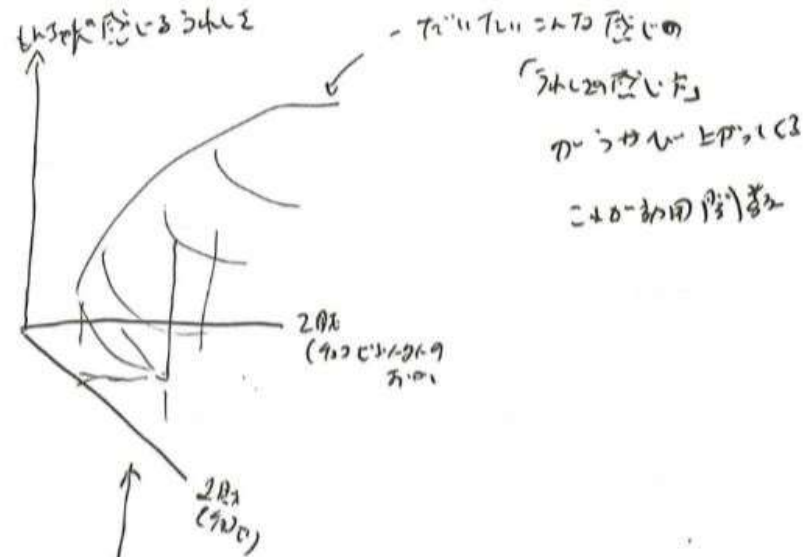
DATE

ミクロ経済学の復習

1. 消費者行動の理論



→



効用関数形... 人によって個人差がある。人が2冊ある以上、この曲面の shape を決めている

産大生の声：「ちょっと待った！江口先生、何をさっきから妄想ばかりしゃべっているんですか？」

江口先生：「ん？妄想だ？」

産大生の声：「だって、そりゃ、しんちゃんみたいな幼稚園児がいたとして、今言ったような質問を繰り返せば、まあ、そりゃ確かに、しんちゃんの「好み」ということになるのかもしれませんがね。

けど、そんな「チョコビがいくらくらと、チョコビ以外のお菓子がいくらくらもらえたら、どれくらい嬉しいかな？」なんて、普通、聞かない（質問しない）っしょ？

わたしだって、人生20年ほど生きていますが、そんな質問、されたこともないし、考えたこともないですよ。

江口先生の返答

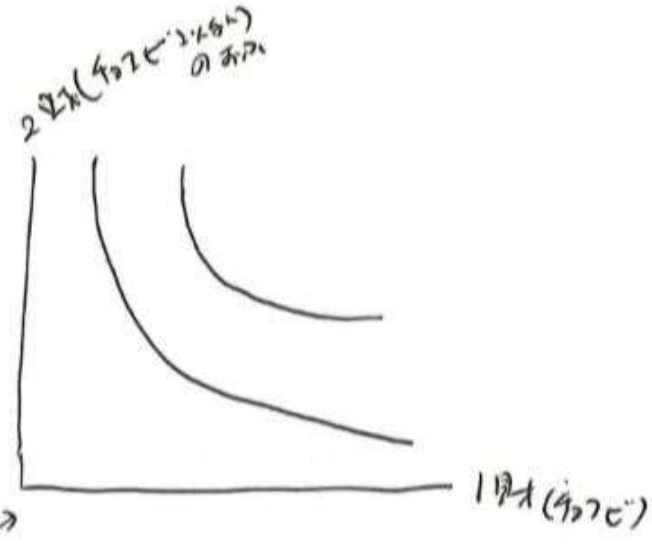
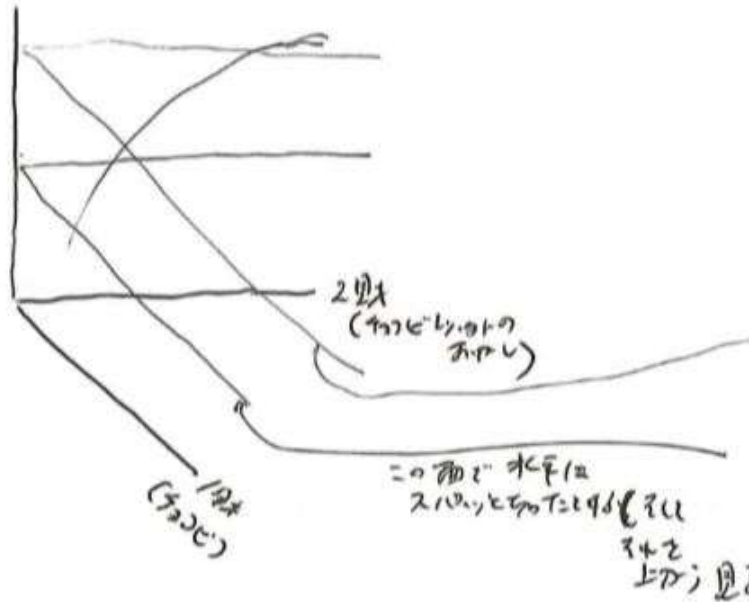
「その通りだ。私自身、人生55年生きていて、そんなことは聞かれたこともない。」

「なので、たしかに妄想である。」

「そんなことは分った上で、なおかつ妄想を述べているので、もう少し、我慢して付き合っ  
てちょうだい。そうすれば、この先（あと20分ぐらい先？）で、もう少し詳しく、この  
「妄想」が「単なる妄想、とって切り捨てることができない、なかなかディープな妄想」  
であることを説明するのでね。」

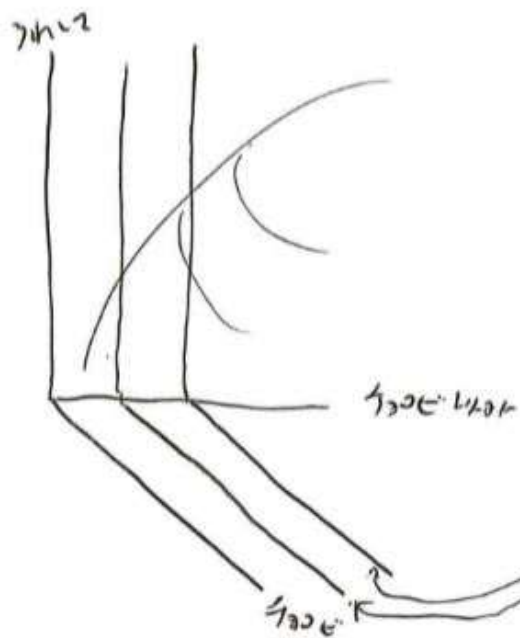
知用財の形... 人による個人差はあるが、人が入る以上、<sup>この</sup> ~~形~~ shape をとるはず  
 → 形が見える

(i) 水平に伸びると、その形は

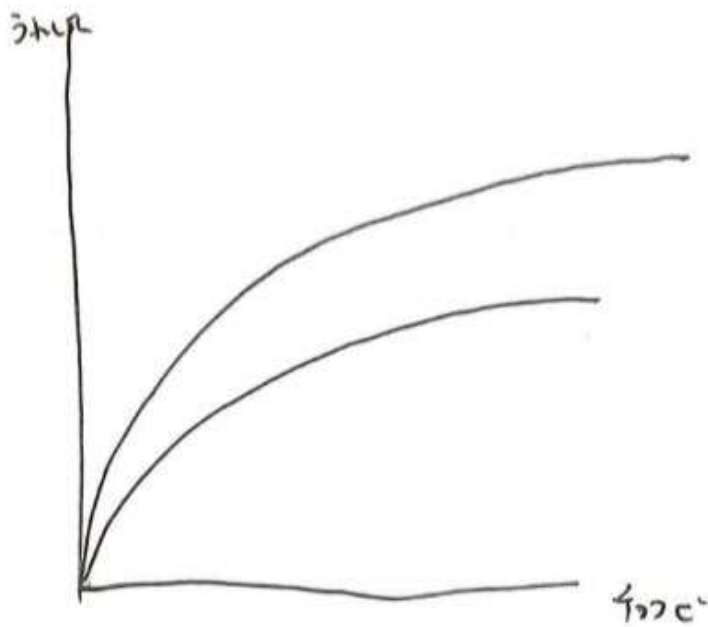


ሆስፒታል

(ii) የገንዘብ ስጦታ ስርዓት



ገንዘብ ስጦታ  
የገንዘብ ስጦታ  
የገንዘብ ስጦታ

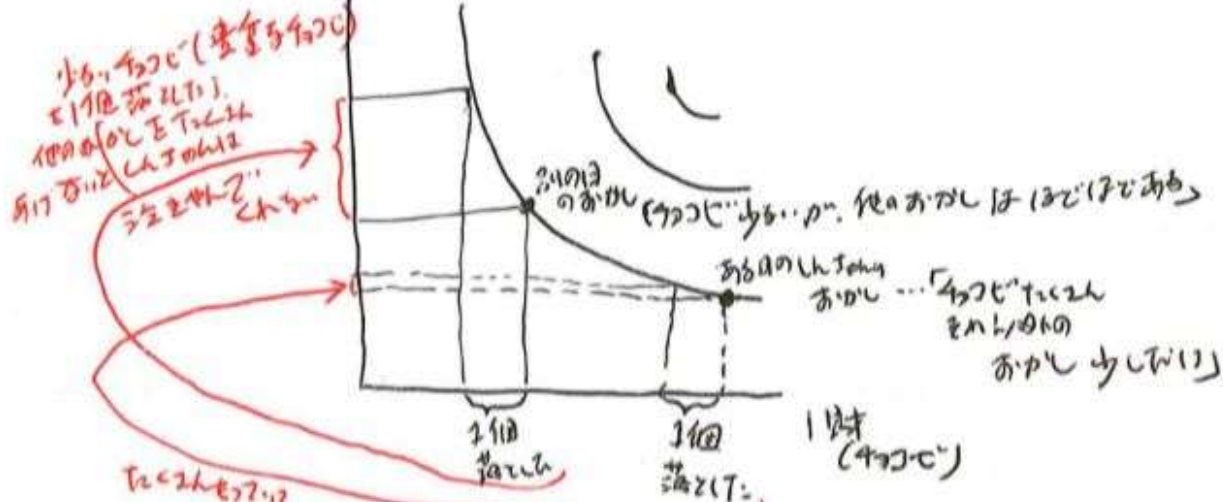




3次元関数の shape (グラフ)

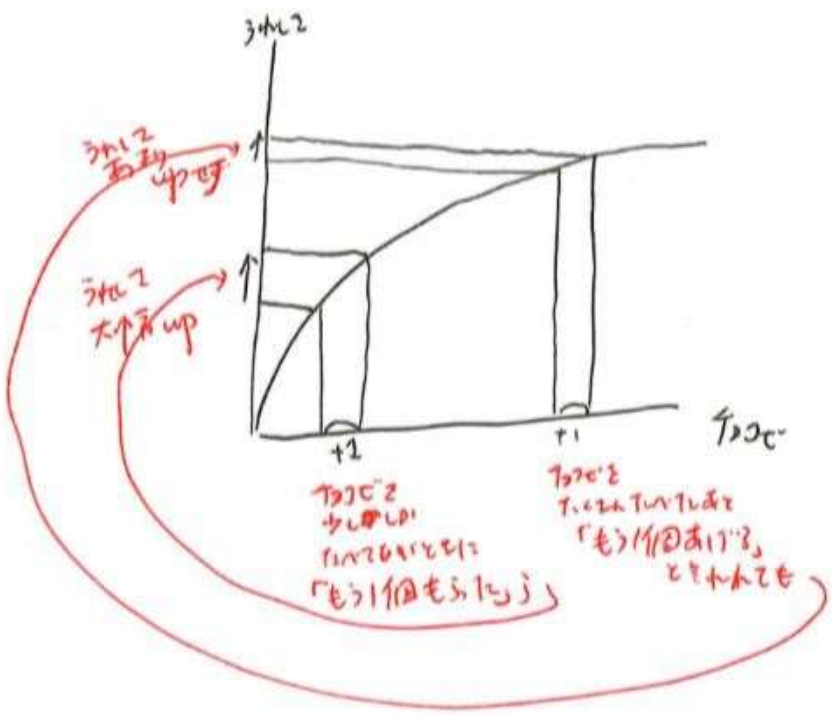
(i) 水平に切った切り口 (= 等高線)

2次元 (4次元以外の次元)



次元...  
 4次元... 1次元...  
 他の次元を少し...  
 次元の...  
 元... (元の次元...)

(ii) 971207, 20 10712



限界効用逓減の法則

「人種、性別、年齢を  
問わず  
人口にわたる以上  
あるところから  
とらえ。」

「1100  
も213E  
に  
も111個  
かかると(と1, 1214)  
その  
「も211個(新1444122, 2011002)  
とらえ。」

「1100 1100 1100 1100  
(11001100) ということ

で、さっきの「しんのすけの好みの姿」という「妄想」に、意味はあるのか？という産大生の声に対する江口の回答の続き(^◇^;)

個人差はもちろん、あるし、デフォルメ（写真ほど詳しくは描かず、一部、イラスト化）もされている。

なので「現実そのもの」ではない。「写真」ではない。

けど、十分、現実じゃん。イラスト化された現実じゃん。

けど、「個人差」があるでしょ？先生の好みと私の好みは違うでしょ？あと、「イラスト化されて切り捨てられた、細かい部分は、無視していいんですか？」

例えば「人の顔」は、個人差はあるけれども、同じじゃない？

私も君も、例えば「目は2つあり、鼻は顔の真ん中にあり、口は1つで・・・」というのは、同じじゃないですか。

そのような、「誰であっても、人の好みの姿なんて、やっぱり、こうだよ」と言える姿（目鼻顔立ち）を「うん、そうだそうだ」といえるぐらいにしっかり捉えて描き出していれば、

「あとは、多少の個人差」なので、

「それ（個人差）は、まあ、とりあえず追求しなくていいじゃない。人の顔と同じで、いくら個人差がある、私の顔はこんなじゃない、とまで言わなくていいじゃん。きりがなくなるじゃん」という、そういう発想なのさ。

「現実（実際の消費者）」と「モデル（ミクロ経済学の中で描かれている消費者の姿）」の関係

江口ゼミナール



原稿0408入稿

江口 潜 准教授

- 労働経済学
- ゲーム理論
- マクロ経済学

原稿0303入稿

「働くということとは？」をテーマに「アクティブな労働経済学」の学びを行っています。「働く」ということは、自分が何かを出来るようになり、それを活かして働いて、所得を得て充実した人生を送って行くということ、「自力で生きていく」ということです。ゼミ生一人一人がそのような人生に向かっていく「ベースキャンプ」となるような場。そんなゼミを学生みんなと一緒に目指しています。

原稿0303入稿



2020年の産大の入試パンフレットより(^\_^);

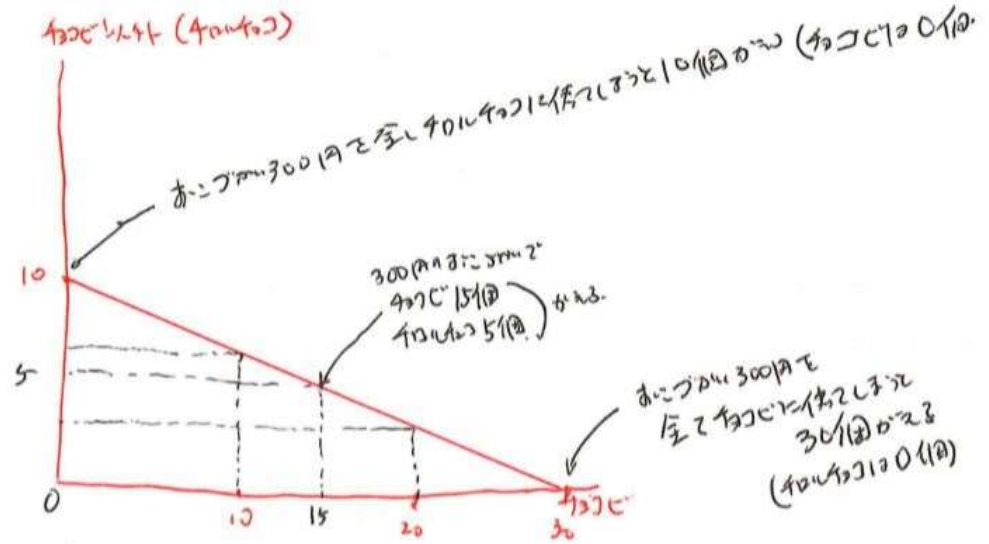
産大の2006年頃の入試キャラクター「経済」さん

次に、「しんのすけが、日々、お小遣いで買うことのできる範囲」を考えよう。

予算集合 (Budget set) ... 所得で買えるものの範囲  
(お小遣い)で買える範囲

お小遣い 1個 10円  
お小遣い 1個 30円  
お小遣い 1個 300円

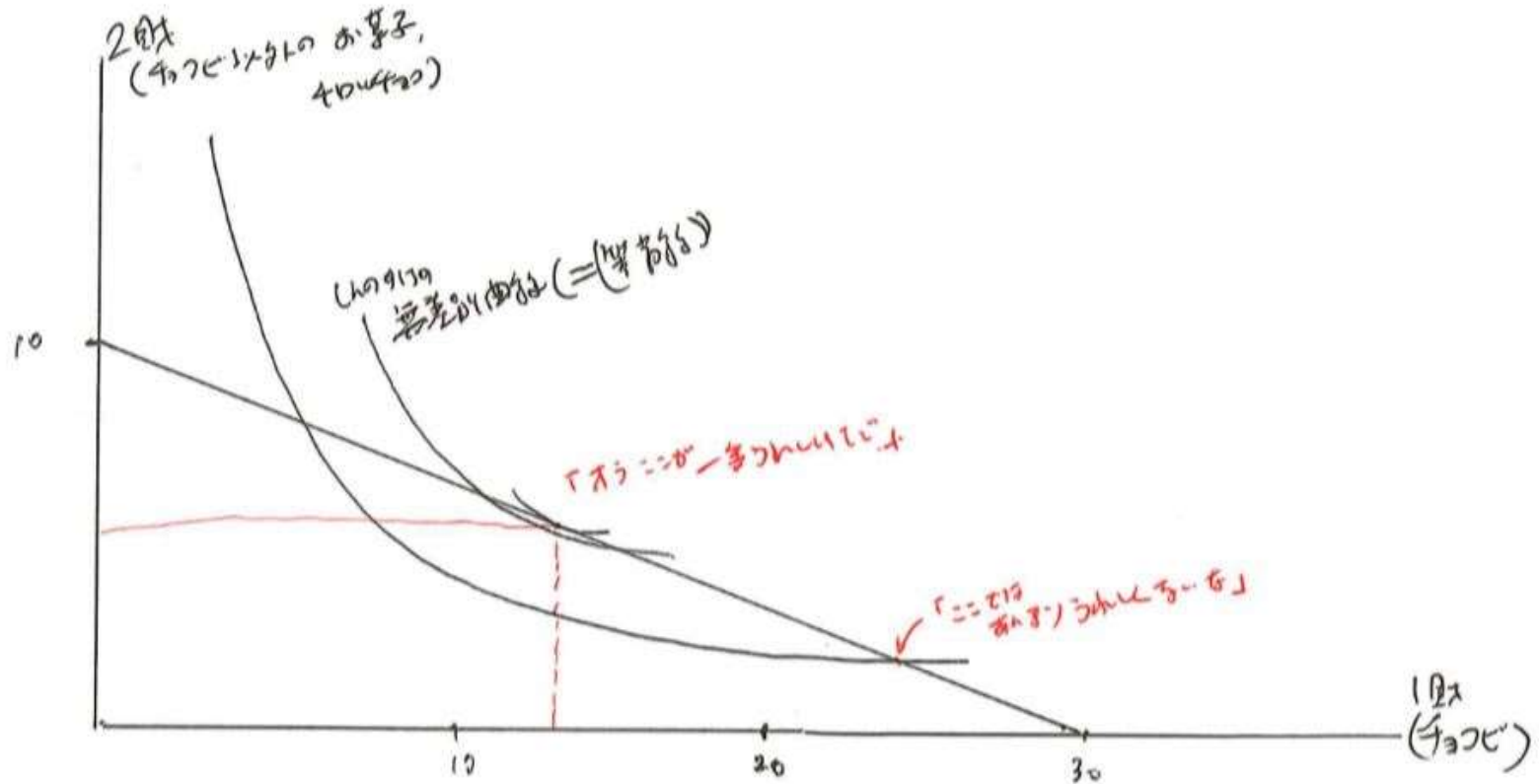
お小遣い以外 (お小遣い)



# 消費者選択の理論

... 「人は、自分の所得で買える範囲内で、

自分が最も満足に感じるモノを買って消費する」  
(ハズ) という内容





さてさて、消費者行動の理論を一通り復習したところで・・・

話は「**代替効果**」と「**所得効果**」という話しに飛ぶ。。。 (聞いたことはあるだろう?)

私たちは「**今日からコンビニでおにぎり100円セールが始まる**」と聞くと、そのとたんに「**だったらコンビニおにぎりを買って食べようか**」とあって、「**買ってみようかな (=需要)**」が、**おにぎりに流れる**。気持ちは完全におにぎりのほうにシフトしてしまう。**おにぎり以外の食事については心が離れる (需要量が減る)**。これが代替効果。

一方、私たちは

「**コンビニのおにぎりは普段通りの値段で売られている。。。と、おっと、安倍政権がコロナ渦の中、国民ひとりあたり10万円くれるらしい。。。なんとラッキー。だったらもっとコンビニおにぎりをたべられるじゃないか (or だったら、コンビニおにぎりなんか食べるのはやめて**焼き肉屋に焼き肉食いにいこうじゃないの**)**」と思う。。。これが所得効果。

私たちの消費者としての選択 (何をどれだけ買うか) は、日々、「あっ、これが安い。よし!」という「代替効果」と、「おっと、旦那のへそくりを見つけてしまった。ラッキー。使ってやれ。」という「所得効果」の「合わせ技」によってあっちにいたりこっちにいたりしている。

## 所得拡張経路

・・・しんのすけの「おこづかい」が増えた（が、チョコビと、チョコビ以外のお菓子の値段は変わらない）としたら、しんのすけがチョコビとそれ以外のお菓子をどれだけつつ買うかな？というライン。

## 上級材と下級材

しんのすけのお小遣いが増えた場合に

「だったらオラ、もっと買う」といってたくさん買おうとするのが「**上級材**」

「だったらオラ、こんなの買うのやめる（もっといいものが買えるから）」といって「**買う量を減らす**」のが「**下級材**」

下級材の例（産大の学生がこれまで江口に教えてくれた例）

小型のバイク

新幹線の「自由席」

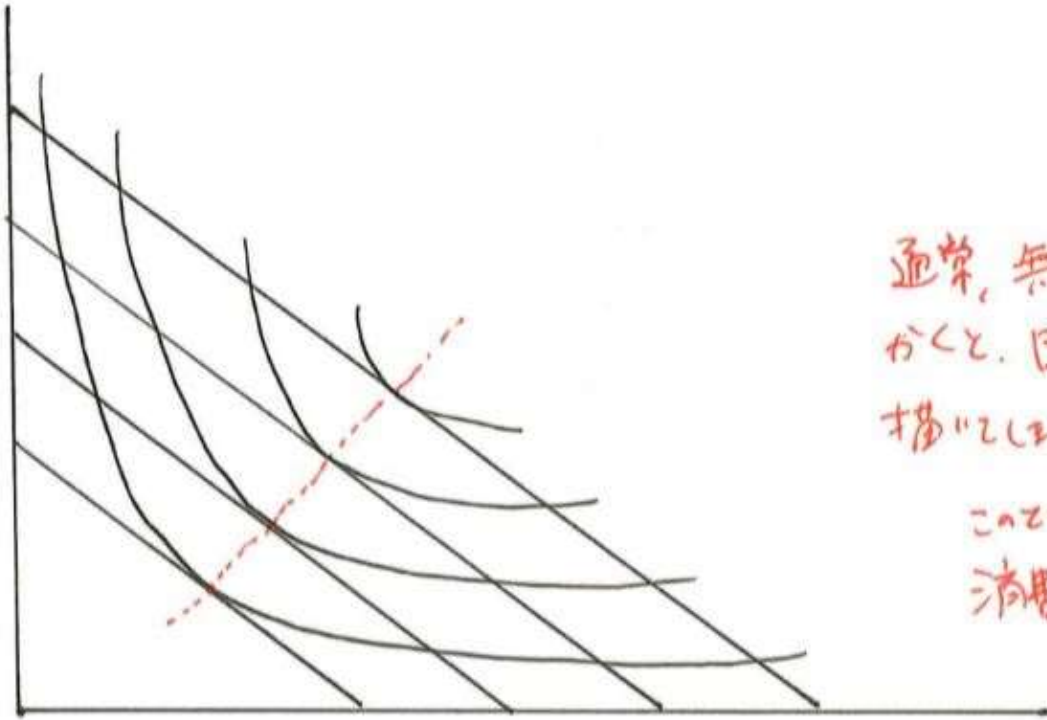
ミクロ経済学演習2020課題1：下級材の例をいくつか挙げよ（つまり、あなたにとって

「これは下級材かな？」と

思う財・サービスを述べよ、ということ。）締め切り：明日の夜9時、提出先：[eguchi@st.nsu.ac.jp](mailto:eguchi@st.nsu.ac.jp) にメールで送ってこよう。メールの要件（Subject）は「国際貿易論課題1：学籍番号 氏名」



2月分



通常、無差別曲線の描き、所得拡張経路が  
かくと、図の右上の点に最適 (つまり、この図を  
描いていく)。

このとき、1月分も2月分も所得がふえれば  
消費量もふえてくる。

1月分 ↓

この場合、2つの月分ともに正常財 (しかも高級財) である。

方針. 「下級科目(劣等科目)がある場合の所得格差と経路」を描く

思いつく範囲で

学生の演習問題

「1科目(上級科目, 下級科目)では」

「2科目(上級科目, 下級科目)では」

